

【FS】出雲大社周辺エリアにおける観光客と地域住民の移動環境向上のための 低速モビリティ導入に係る社会実験(島根県出雲市)

1. 実験概要、留意すべき項目

- 出雲大社周辺エリアにおいて、観光客と地域住民の移動環境向上に向けて様々な低速モビリティの導入実験を行い、利用者ニーズを調査するとともに観光道路と生活道路における導入可能性と安全性を検証する。
- 観光地における道路空間の有効活用、高齢者を含めたまち歩きの促進の検討につながる調査となっていること。

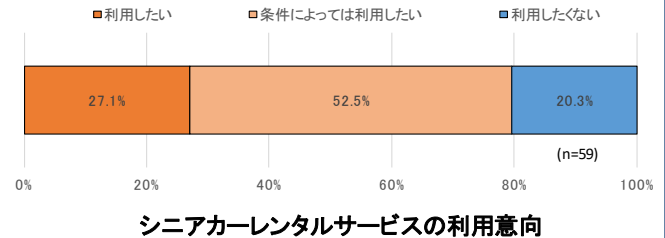
2. 今年度の調査内容、調査結果

【観光客、沿道店舗、住民アンケート】

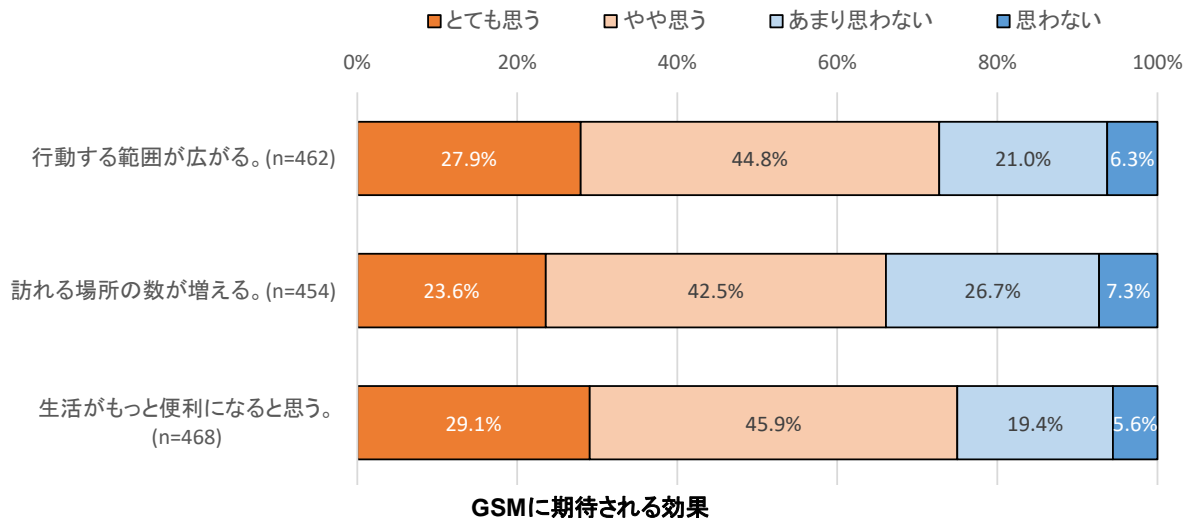
- ① 観光客によるシニアカー利用意向⇒**利用意向は高く、観光満足度の向上に期待**
- ② 観光客によるGSM乗合交通利用意向⇒**利用意向は高い、ダイヤ・価格は要検討**
- ③ 沿道店舗による事業実施への賛成意向⇒**安全性、駐車スペース不足に懸念**
- ④ 住民によるGSM乗合交通利用意向
⇒**利便性の向上に期待、ルート・ダイヤは要検討**

【シニアカーの試走実験】

- ① 安全面の検証、課題の抽出⇒**協議会委員、観光客の試走の結果、いずれも高評価**



シニアカーの試走実験



【FS】出雲大社周辺エリアにおける観光客と地域住民の移動環境向上のための 低速モビリティ導入に係る社会実験(島根県出雲市)

3. 次年度の社会実験に向けて

R2年度は、一旦中止

実験メニュー	実験内容
観光客向けGSMの運行実験	<ul style="list-style-type: none">ゴルフカート型電動小型低速車(7人乗り)を土日祝日に定時定路線で運行車頭部にドライブレコーダーを設置し、走行安全性を検証利用者、住民にアンケート調査、運行事業者にヒアリングを行い、安全性、GSMの受容性、支払い意思額、運行頻度に対する評価、外出の変化を検証
住民向けGSMの運行実験	<ul style="list-style-type: none">ゴルフカート型電動小型低速車(7人乗り)を平日に予約制で運行車頭部にドライブレコーダーを設置し、走行安全性を検証利用者、住民にアンケート調査、運行事業者にヒアリングを行い、安全性、GSMの受容性、支払い意思額、運行頻度に対する評価、外出の変化を検証

4. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
来年(2020年)は日本書紀が成立して1300年であり、来年の実験と時期が重なる。出雲神話を共有して、出雲大社の歴史的な位置づけを認識して帰ってもらえるような仕組みづくりが必要なのではないかと思う。	チラシや音声案内など、GSM利用者への観光案内の方法などについても実証実験において検証を行う。
観光客は離れたところに停めてもらって、GSMで大社まで行き、境内はシニアカーで、というような使い方ができないか。	令和2年度にGSMの実証実験を、令和3年度にシニアカーの実証実験を行い、GSM・シニアカーそれぞれの安全性やニーズを検証する。その上で、他の交通モードを組み合わせた大社周辺の将来的な交通のあり方・長期ビジョンを検討する。

5. 今後のスケジュール

- 令和2年度: GSM実証実験(10、11月の14日程度)、
:シニアカーレンタルサービス実証に向け、貸出場所、駐車場確保等の調整
- 令和3年度:シニアカーレンタルサービス実証実験
- 令和4年度:観光向けシニアカーサービス導入
GSM乗合交通本格導入に向けた検討、調整
- 令和5年度: GSM乗合交通導入

新型コロナの影響により、
スケジュールを見直し中